



Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

令和4年6月発行 no.37



incm 土砂災害から身を守るには

雨の多い時期を迎え、災害に対する意識を高め、災害から身を守る知識を身につけましょう。

◎日野郡公設塾「まなびや緑側」の3つの拠点で、子どもたちの学びの輪が広がっています。

◎鳥取県の和子牛セリ価格が2年連続で全国1位の高値

◎日南町の農事組合法人が「星空舞栽培コンテスト」で最優秀賞受賞

◎森に学び、森を守る！にちなみ中国山地林業アカデミーの人材育成

◎鳥獣被害対策 トイレルカマラの話③

◎日野郡で輝く人「オシトリクルー」代表 森田勝彦さん

◎新型コロナウイルス又感染症



②警戒レベルに注意し、早めに避難しましょう

警戒レベルは、災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなります。警戒レベルが出されたとき、どのような行動をとればいいのでしょうか。

〔警戒レベル3〕

高齢の方や障がいのある方などは危険な場所から避難し、それ以外の人も、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

〔警戒レベル4〕

対象となる地域住民の方々には危険な場所から全員避難しましょう。

| 警戒レベル | 状況 | 住民がとるべき行動 | 行動を促す情報 |
|------------------|------------|----------------|----------------------|
| 5 | 災害発生又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保! | 緊急安全確保 (町が発令) |
| (警戒レベル4までに必ず避難!) | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から全員避難 | 避難指示 (町が発令) |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から高齢者等は避難 | 高齢者等避難 (町が発令) |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) |
| 1 | 気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報 (気象庁が発表) |

③防災対策の三要素(自助・共助・公助)をご存じですか



自助・共助・公助とは?

実際に災害が起きた時に、できるだけ被害を少なくするには事前に防災対策を立てておかねばなりません。防災を考えるうえで、必要な三要素として「自助」「共助」「公助」があります。

自助

自助とは、自分自身や家族の命と財産を守るために、自ら防災に取り組むことです。自分(家族)の身は自分(家族)で守る、との考えのもと、日常的な災害に対する備えや、災害時の対応を行っていきましょう。

共助

まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々々と助け合うということです。また、災害時に円滑に助け合いができるように、日ごろから地域・組織・グループでの助け合いについて備えることです。いざという時に助け合いができるよう地域のつながりを大切にしましょう。

公助

国、自治体、消防、警察、自衛隊などによる公的な救助、災害支援や復興活動のことです。鳥取県では、災害時の住民の救援を迅速・円滑に進めるため、関係機関・業者等の団体と災害時応援協定を締結しています。

大規模災害時の「公助の限界」

大規模災害時では公助(行政、消防、警察、自衛隊、医療機関)の機能に限界があります。また、道路や交通手段に大きな被害が出ると、物資を運ぶ物流も機能低下します。災害からの被害をできる限り少なく抑えるためには、平常時から、自ら取り組む自助、地域で取り組む共助を実施し、大規模災害に備えることが必要になります。いざというときに備え、日ごろから防災を意識して取り組みましょう。



土砂災害から身を守るには



雨の多い時期を迎え、災害に対する意識を高め、災害から身を守る知識を身につけましょう。

近年は地球温暖化による異常気象の影響で、これまでに経験したことのない甚大な災害が全国各地で発生しており、日野管内でも、大雨や台風の影響により大きな災害が発生しています。

鳥取県では土砂災害から人命や財産を守るために様々な対策工事を実施しています。

しかし、災害発生の可能性がある箇所が至るところにあるため、工事には長い時間と多額の費用を必要とします。また、工事をすれば絶対に災害が発生しないとも限りません。では私たちはどうすれば良いのでしょうか。



土砂災害とは?

大雨により、山や住宅地にある急な斜面が崩れ、また崩れた土砂や木が雨水や川の水と混じって流れてくることによって、人命が奪われ、家や田畑や道路が土砂で埋まる災害を土砂災害と呼んでいます。土砂災害は、大きく3つに分類することができます。

①がけ崩れ

急な斜面が崩れることをがけ崩れといいます。大雨の時に、一瞬のうちに起こることが多いため、家が壊れて、人命が失われることが多い災害です。



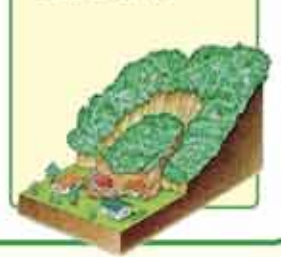
②土石流

土石流は、山から崩れてきた土や石や岩が水と一緒に流れて、ものすごい勢いで流れ落ちてくる現象です。



③地すべり

地すべりは、斜面が広い範囲にわたって動くものです。家や田畑なども一緒に地面が大きな塊のまま動きまわります。



①危険な場所と危険度の確認方法を知りましょう

どこが危険なの?

鳥取県では、土砂災害が発生した時に被害の及ぶ可能性のある範囲を土砂災害警戒区域として指定しています。

町から配布されている土砂災害のハザードマップ等を確認し、日頃から身の周りの危険な場所を確認しておきましょう。

*鳥取県ホームページで「とっとりWebマップ」を検索すれば、確認できます。

土砂災害の危険度を確認するには

「鳥取県土砂災害警戒情報システム」では土砂災害警戒情報や土砂災害危険度情報、雨量情報をスマートフォンや携帯電話、NHK地上デジタル放送から確認することができます。



【パソコン・スマートフォン・携帯電話共通URL】 <https://d-keikai.sabo-tottori.jp/>
二次元コード読取機能のあるスマートフォン、携帯電話をお持ちの方は、右の二次元コードからもアクセスできます。

2022年6月1日から、気象庁が線状降水帯予測を開始します。こうした情報にも気をつけていきましょう。
《線状降水帯とは》雨雲が線状に次々と発生し、数時間にわたり同じ場所で強い雨を降らせる現象です。





『まなびや縁側』の3つの拠点で、

— ここから「ワタシ」が始まる。さあ、一步を踏み出そう — 子どもたちの学びの輪が広がっています。

まなびや縁側 拠点一覧

| | 日南町 | 日野町 | 江府町 |
|------------|---|--|---|
| 場所 | ぶらら2階 (生山駅隣り) | 日野町山村 開発センター | 愛ベル(まなべる) こうふ2階 (江府町防災・情報センター) |
| 電話番号 | 080-8035-1460 | 080-1338-0743 | 0859-75-2005 |
| 開塾時間 | 月～金曜日 放課後～21時 ※その他イベント等の時間は別途決定 | | |
| 対象生徒 | 日南中学3年生 町内の高校生 日野郡内の高校生 日野高校生 | 日野郡内の高校生 日野高校生 | 奥大山江府学園 6～9年生 日野郡内の高校生 日野高校生 |
| 塾費 (月額) | 高校生:1,000円 ※中学生は無料 | 高校生:1,000円 | 高校生:1,000円 ※奥大山江府学園の 生徒は無料 |
| 講師 |  佐々木俊宙 (ささきとしひろ) |  中谷柊哉 (なかたにしゅうや) |  阿部将樹 (あべまさき)  青柳仁人 (あおやぎひろと) |
| コーディネーター |  請川雄哉(うけがわゆうや) | | |

江府拠点 昨年度まで実施して
が期待されます。

より幅広い学びの場となること
を大事にしなが、より生徒の
意欲を引き出せるよう講師や
コーディネーターが様々な工夫
をしていきます。もちろん塾生
であれば、3町すべての拠点を
利用することができますので、

日野拠点 県外から日野高校に
入学し双葉寮で生活している生
徒や、中学時代に『まなびや縁
側』を知り進学後に早速入塾し
た生徒もいます。

いた中学生の自主学習の場と
『まなびや縁側』を統合して開
設されました。特に水曜日は部
活動がない日で、幅広い学年の
たくさんの方が放課後の学習
に取り組んでいます。



日野拠点にて、昨年度のスタッフ(後列)と
生徒たち(前列)

地域の担い手を確保するためには、現在日野郡に暮ら
している子どもが将来、この地で暮らし地域を支えていく
ことが望まれるところですが、義務教育終了後に地域と
のつながりが薄れてしまう子どもも少なくないようです。

日野郡3町が令和2年に開設した日野郡公設塾『ま
なびや縁側』では、地域や進路のことを考えてもらうプ
ログラムを提供することで、高校生一人一人の教科学習
が充実し、自分らしく挑戦する若者として育つことを目指
しています。

地域の担い手を確保するためには、現在日野郡に暮ら
している子どもが将来、この地で暮らし地域を支えていく
ことが望まれるところですが、義務教育終了後に地域と
のつながりが薄れてしまう子どもも少なくないようです。

日野郡3町が令和2年に開設した日野郡公設塾『ま
なびや縁側』では、地域や進路のことを考えてもらうプ
ログラムを提供することで、高校生一人一人の教科学習
が充実し、自分らしく挑戦する若者として育つことを目指
しています。

令和元年六月に、3町の教育
委員会、中学校長、地域住民と、
日野振興センター、そして日野
高校からなる日野郡ふるさと教
育推進協議会の設立総会が開催
され、日野郡在住の高校生と日
野高校在学を対象とした公設
塾を、令和2年度に開設するこ
とを決定しました。

こうして、公設塾『まなびや
縁側』が、発議から一年半後の令
和二年六月にプレオープン、九月
にグランドオープンしました。

◆公設塾『まなびや縁側』が
できるまで

日野郡の各町長と日野振興セ
ンター所長の会議(平成三十一年
一月開催)の中で、人口減少
が著しい日野郡においては、高
校生に対する「ふるさと教育」
を独自に実施していくべきでは
ないか、という議論が行われた
結果、3町長が賛同する形で検
討がスタートしました。

特別に編成されたプロジェクト
チームで数度にわたって検討
しましたが、当初は企画がまと
まらず、事業化はほど遠い状況
でした。しかし、各町の努力に
加え、県も調整役としてとりま
とめ作業をサポートすることに
で、徐々に公設塾の形が見えて
くるようになりました。

◆一人一人に合わせた『まなび
や縁側』の学習カリキュラム

公設塾のコンセプトや育成す
る生徒像は、地域住民や役場職
員、日野高校教職員などで開催
するワークショップやシンポジウ
ムを通じて練り上げて、目指す
生徒像を『やらいや』精神を持っ
た生徒」と決定しました。「や
らいや」精神とは、次の3点を
意味しています。

「やる」＝主体的に行動する
「つながる」＝地域とつながり、
仲間を作る
「ひろがる」＝自分と地域の広が
る未来を描く

そして、一人一人の学びの過程
に合わせて、「自分を知る」→「社
会を知る」→「活動の場を選ぶ」
と学習を発展させることができ
るよう講師が生徒の思いを引き
出し、学びを支援しています。

「自分を知る」過程では、自
己理解や共感のワークショップ
などを通して、自分や周りの人
を理解します。

「社会を知る」過程では、課
題解決学習や地域のイベント参
加、自分でイベントを作る体験
などを通して、気になる場所や
出来事を見つけ、なぜそうなる
のか、どうすれば変えられるか
などの課題解決策を考えます。

◆地域により近く！
3つの拠点を開設

二年間は日野町山村開発セン
ターで開設していた『まなびや
縁側』ですが、今年四月から、
地域により近い場所ので、3町そ
れぞれの特徴を生かした学習が
できるよう、各町の拠点を開設
しました。

日々の学習活動はそれぞれの
生徒が通いやすい拠点で行い、
ワークショップやイベントなど
は、一か所に集まって実施する予
定です。開設当初のコンセプト



◆日野郡3町の連携で
広がる学び

日野郡3町では、公設塾『ま
なびや縁側』の運営や日野高校
の魅力向上に取り組み中で、幼
児期、学童期から高校生に至る
各段階で連携した取組をさらに
進めていこうという機運が高ま
り、今年一月に『日野郡教育ビ
ジョン』を策定しました。

3町が連携して取り組むこと
で、小規模校で学ぶ日野郡の子
どもたちが、パソコンなどのI
T機器を活用して多様な価値観
に触れ切磋琢磨する機会を作
ったり、地域で働く人や暮らしを
支える人、歴史や文化をよく知
る人などから学ぶ機会をさらに
増やしたりしていくことになる
でしょう。

日野郡に暮らす子どもたちが
が、将来に希望を持って意欲的
に学び、可愛がって育ててくれ
た日野郡を愛し続けてくれるこ
とを心から願っています。

森に学び、
森を守る!

にちなん中国山地 林業アカデミーの

人材育成



令和4年4月4日、林業アカデミーにおいて第4期生の入学式が行われました。近年、全国的にも有名になり、2年連続で定員10名を上回る林業専修科12名(県内6名、県外6名)、林業研修科2名(県外2名)の研修生が林業への熱い想いを胸に新たな生活をスタートされました。

入学式直後の期待と不安でいっぱいの研修生を代表して3名の方に、アカデミーで学びたいことや林業への想いについてお話を聞きました。



専門高校で林業を学び、高校の先生から紹介を受けてアカデミーを知りました。高校の授業で、多くの森林で伐採適期を迎えていることや放置森林について学習しました。アカデミーでは高度な伐倒技術や、高性能林業機械の操作技術の習得に向けて研修を頑張りたいです。
将来は放置森林に手を入れ、管理された森林を増やしていきたいと考えています。



川下 翼さん
(鳥取市出身)

中学卒業時には林業にあまり興味はありませんでしたが、林業の専門課程のある高校へ進学し、林業について学んでいる間に、将来はこの分野で活躍したいと考えるようになりました。そこで、実践的な林業技術が習得できると聞いて、アカデミーへ進学しました。アカデミーでは木を伐採する際の「受け口」と「追い口」のより正確な作り方や、林業機械の操作技術の向上に向けて頑張りたいです。



三村 匠さん
(鳥取市出身)

大学で森林について学習する中で、野外での仕事に就職したいと考えてようになり、アカデミーに進学することを決めました。アカデミーでは、木材の生産性の向上や森林の多面的機能を十分に発揮できる森林づくりのため、造林に関する技術や知識を深く学びたいと考えています。また、雨や雪の中作業することもあるので、身体的だけでなく、精神的に強くなりたいです。



磯野 柁太さん
(神奈川県出身)

同日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2018 FAX:0859-72-2125

鳥取県の和子牛セリ価格が2年連続で全国1位の高値



農家で生まれたばかりの子牛
この子牛を約9カ月育てて和子牛セリに出荷します。



母牛の放牧
日野郡では春から秋まで妊娠した母牛を放牧して省力化を図っている農家もあります。

令和3年に鳥取県中央家畜市場(鳥取市場)で開催された和子牛セリの1年間の平均価格は83万2378円と全国96市場の中で第1位の高値となり、昨年に引き続き2年連続の全国1位を達成しました(日本農業新聞調べ)。今年の月別平均価格も、1月は3位、3月は1位、4月も1位と全国トップレベルの価格で取引され続けています(2月はセリが休み)。ちなみに日野郡では令和3年に34戸の和牛農家が138頭の和子牛を市場に販売し、県平均価格を上回る平均85万8311円で取引され、中には120万円を超える子牛も11頭いました。

このように鳥取県の和子牛が高水準で取引される理由は、高級な霜降り肉になる能力を持っている県有種雄牛「白鷗85の3」を父に持つ子牛の県外購買者からの引き合いが強いからです。鳥取市場では「白鷗85の3」の子牛が約6割を占めており、令和3年には最高値848万円で取引されるなど、全国から注目される市場となっています。「白鷗85の3」は現在12歳を超えて高齢となっているため、県は後継牛の育成に取り組んでいます。

現在、日野郡内には、使われていない牛舎もあります。この記事で和牛繁殖に興味をもたれた方は、日野農業改良普及所までご相談ください。(価格は全て税込価格)

同日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2027 FAX:0859-72-2090

鳥獣被害対策

トレイルカメラの話③

日野郡鳥獣被害対策
実施隊 木下卓也



トレイルカメラの話の終りは、撮影時によくある問題とその対策についてお話しします。

●問題1: 映った動物の大きさが良く分からない

自分で撮影しておいて、大きさが分からないなんてあるの?と思われるかもしれませんが、意外とあります。右の3枚の写真は、カメラを同じ柱に固定し、高さや角度を変えて撮影したものです。

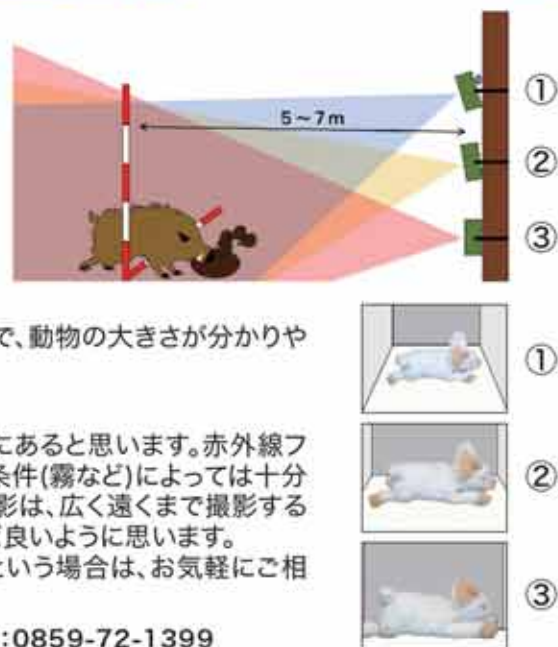
撮影位置が変わると、同じ大きさの物でも全然違う大きさに見えてしまいます。実際の撮影に入る前に、撮影場所に赤白ボールやメジャーを当てて撮影しておくことで、動物の大きさが分かりやすくなります。

●問題2: 暗くて何がいるのか見えない

この問題の一番の要因は、撮影対象物とカメラの距離にあると思います。赤外線フラッシュ自体は10mくらいまで届く仕様であっても、撮影条件(霧など)によっては十分に明るさを確保できず、暗くなってしまうのです。夜間の撮影は、広く遠くまで撮影するのは困難です。対象物までの距離は5-7mくらいがちょうど良いように思います。

トレイルカメラを使ってみたいけど、上手く撮影できないという場合は、お気軽にご相談ください。

同日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399



お詫びと訂正

前号の日野振興センターだよりNo.36(令和4年3月発行)の2ページに掲載しました『たたら製鉄の技術を伝える「鉄山秘書」の著者 下原重仲(敬称略)の「鉄山フォーラム」の記事の中で、江府町立図書館司書のお名前が誤りがありました。正しくは、中島昭生司書です。ご本人をはじめ、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

日南町の農事組合法人が「星空舞栽培コンテスト」で最優秀賞受賞



「星空舞」のブランド化推進に向けて

近年、コロナ禍等によって米の消費が低迷し、米価が下落していることから、水田農業を経営する農家が苦戦を強いられる状況にあります。

このような中で、県では、各種PR活動によって、県産新品種である「星空舞」のブランド確立に向けた取り組みを推進するとともに、米の販売促進を応援しています。

第3回「星空舞」栽培コンテストで

「矢原一心ファーム」が最優秀賞を受賞!

「星空舞」の栽培技術向上を目指す取り組みとして実施されている、「星空舞栽培コンテスト」は、令和3年度で3回目の開催となり、日南町茶屋(標高約500m)の「農事組合法人 矢原一心ファーム(代表理事 木山篤志氏)」が最優秀賞を受賞されました。

日南町の米生産者による受賞は2年連続で、日野郡のお米の食味、品質の良さが実証されました。



星空舞の田植風景

矢原一心ファーム木山氏



星空舞パッケージ

「星空舞」も米の食味ランキング「特Aランク」獲得を目指します

「星空舞」は、これまで標高300m以下で作付けを推奨されてきましたが、令和4年度から標高500mまで拡大され、日野郡内で広く普及できるようになりました。

令和3年度に日本穀物検定協会が実施した米の食味ランキングで最高評価の「特Aランク」を獲得した鳥取県産「コシヒカリ」「きぬむすめ」に続き、「星空舞」も特Aランクの獲得を目指して、日野郡の米生産者が「星空舞」のブランド確立をリードできるように、県及びJA等関係機関が一致団結して支援していきます。

同日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090



森田代表ご夫妻(前後列の右端)と
オシドリグループの皆さん

に通われ、案内役や施設の環境整備をしながら、来訪者へ手書きのお礼状を送るなどの交流も続けられました。

こうして多くの方に親しまれてきた観察小屋ですが、老朽化などにより3月末に閉鎖され、近隣地に移転新築の後、11月1日に町営として再オープンする予定です。オシドリグループは施設の運営から離れることとなりますが、当面は案内役のノウハウ伝授などの活動を通じて協力していかれます。



岩田町長(左)と森田代表

「オシドリグループ」は1994年に発足したボランティア団体で、これまで27年間にわたってオシドリ愛護活動を継続してこられました。グループが運営してこられた観察小屋は「オシドリを間近で見ることができる」と好評で、今では年間約1万人の方が県内外から訪れるほどになりました。

観察小屋建設当初、飛来するオシドリは30羽程度だったそうですが、地道な保護活動により、現在では多い日には1千羽が飛来します。ここで一度、野生のオシドリを間近で見た方は、翌シーズン以降も何度も日野町を訪れるとか。

オシドリが飛来する11月から3月までの期間中、グループの皆さんが毎日、来訪者の案内役を務めてこられました。森田代表ご夫妻も1日も欠かさず観察小屋



観察小屋で来訪者を迎えてきた
事務局の森田さん

施設の再建に向けて3月29日に行われた記念セレモニーでは、これまでの活動に対し、町からグループの一人一人に感謝状が贈られました。森田代表は「新しい観察小屋が愛されるよう変わらず協力したい。」と熱意を語られました。

森田代表はじめオシドリグループの皆さん、これまで本当にありがとうございました。

☎日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

新型コロナウイルス 感染症

暑い夏がやってきます。感染症の対策をしながら、熱中症にも備えが必要です。教えてくださるのは

鳥取大学医学部副学部長 ウィルス学分野 景山誠二教授 です。



① 新型コロナウイルスの特徴を踏まえて、必ずマスクを付けるべき場面はどんなときですか。また、マスクが必要でない場所などがありますか。

② 誰かと会話するときは必ずマスクを着用してください。一人のときや屋外で人との距離が十分あるときは、マスクを外して構いません。

新型コロナウイルスは飛沫によって感染しやすいので、会話するときや屋内で人と一緒にいるとき、屋外でも人との距離が近いときは、必ずマスクを着用してください。田畑での作業、庭仕事、散歩など屋外で人との距離が2メートル以上とれるときは、マスクを外して構いません。マスクを持っておき、誰かに出会ったときは着用するとよいでしょう。

③ 熱中症にならないために注意することを教えてください。

④ のどが渇きを感じる前に、こまめな水分補給を心がけましょう。

マスクを着用した場合、呼吸数や体感温度が上昇するなど、体への負担がかかります。のどが渇きを感じる前に、こまめな水分補給を心がけましょう。1日に食事以外で、コップ6杯(1.2リットル)以上の水分補給が必要です。1時間に1杯などの目安を決めて飲まれるのもよいでしょう。

熱中症は重くなると命に関わるたいへん危険な病気です。体調がすぐれないと感じる前に、早めに休憩し、水分を取りましょう。

⑤ 新型コロナウイルスワクチンを3回接種しましたが、4回目の接種が必要でしょうか。

⑥ 条件の合う方は、主治医などと相談し、積極的な接種をご検討ください。

海外の研究でも、ワクチン接種による重症化予防効果が認められています。

新型コロナウイルス感染症では、高齢者や基礎疾患のある方などは特に重症化しやすいことから、国はそうした方に対して絞って4回目接種を行うことを決定しました。条件(※)に該当する方は、主治医などと相談して、積極的な接種をご検討ください。

(※)60歳以上の方、18歳以上で基礎疾患のある方等で、いずれも3回目接種から5か月経過した方



☎日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



表紙写真

タイトル:収穫の喜び

撮影者:日野町 松本 利秋

撮影者コメント:農業を夢見て滋賀県から移住した小谷芽衣さん・(一財)日南町産業振興センター研修生。トマトを栽培する(株)エイトでの研修も二年目に入り、慣れたもので、収穫の喜びもひとしおのようです。日南トマトは高原で栽培され、甘みと酸味のバランスがよくジューシーと評判も上々である。と(株)エイトの岩田正社長は語ります。トマトは赤色を想像されますが、この時期は店頭に並んだ時点で真っ赤になるよう、収穫は薄く色づき始めた頃、7月から10月まで続きます。